

絶対圧力伝送器

安定した絶対圧力測定のためには

絶対圧力伝送器は圧力センサの基準圧力測定側を絶対真空室にすることにより、絶対真空を基準としたプロセス流体の圧力を測定することができます。

絶対圧力伝送器では真空基準室の品質=性能

日立伝送器は独自の製法・構造を採用

①低レンジでも高精度 ②高い信頼性を確保 ③抜群の長期安定性 を実現します

独自の真空基準室

差圧伝送器のような高/低圧室対称の受圧部構造では、安定した真空基準室を得ることは困難ですが、日立の絶対圧力伝送器は独自の受圧部構造により**安定した真空基準室を実現**しています。

センサは原子拡散結合

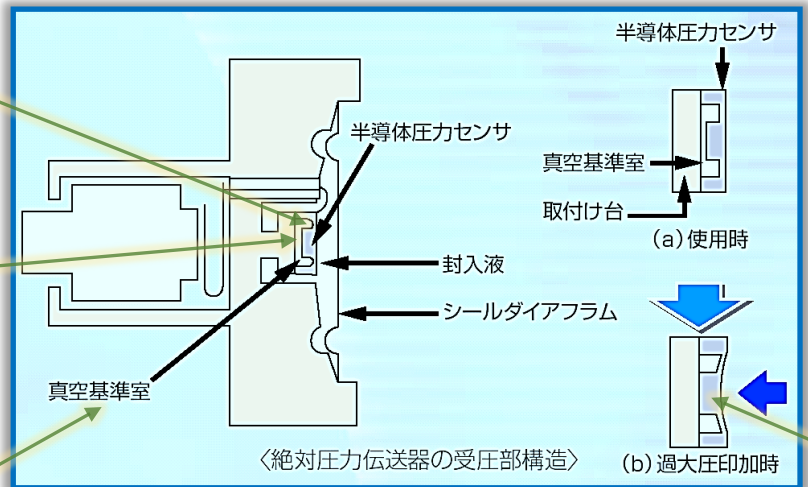
- ▶ 接着剤等を用いないので、真空基準室からのガスの発生がなく安定した基準室を実現

E形センサの採用

- ▶ センサの中心剛体部が取付台にあたり保護される為、大気圧開放や過大圧印加に強い構造を実現

高真空基準室の実現

- ▶ 半導体圧力センサの製造プロセスの特長を生かし、高真空度の基準室を実現し、低レンジ圧力の測定においても高精度な測定が可能



最大使用圧力：0.98MPa (約10kg/cm²)

- ▶ (測定範囲：100kPa abs.相当レンジの場合)

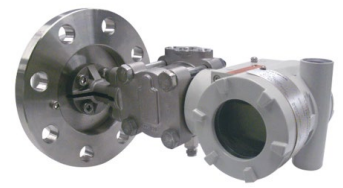
絶対圧力伝送器のラインアップ



EDR-N8A形絶対圧力伝送器



EDR-N8AS形隔膜置換器付絶対圧力伝送器



EDR-N8AF形フランジ付絶対圧力伝送器

日立の絶対圧力伝送器はさまざまな取り付け方法に対応可能